

■業務概要・技術的特徴

草加松原団地は、東武伊勢崎線松原団地駅前に広がる、昭和37年に管理開始された、面積約53ha、総戸数5926戸の大規模団地である。本業務は建替事業第1期後工区の建物基本設計と配置実施設計を行った。

当該街区は、中央に高圧線が通っていることから、配置計画に大きな制約を受けることと、街区の半分を民間に譲渡することが条件。そこで、高圧線を堺に南側を譲渡敷地、北側を計画地と分割した。高圧線に沿って、グランドプランに位置付けられている地区を回遊する歩行者動線を確保することと合わせて、高圧線下に残る従前の緑地や樹木の保全を図り、駅前でありながらゆとりが感じられる住環境を創出した。

■計画の特徴

「駅前の賑わいの中にゆとりと緑が感じられる、落ち着いた都会的ライフスタイル」の創出

- ・心地よい自然と、都心への利便性
- ・愛着をもてるまちづくり
- ・歴史文化を育む心の充実
- ・子供からお年寄りまで安心してらせるまちづくり
- ・子育て環境の充実
- ・世代を超えて集える環境づくり

■計画概要

所在地：埼玉県草加市松原一丁目

用途：共同住宅

階数：8～14階 構造：RC造

戸数：215戸 高さ：41.3m

敷地面積：20,246.32㎡

建築面積：6,130.08㎡ 建ぺい率：30.25%

延床面積：38,561.48㎡ 容積率：162.14%

竣工：H24年3月

